

# ウィーン モダニズム

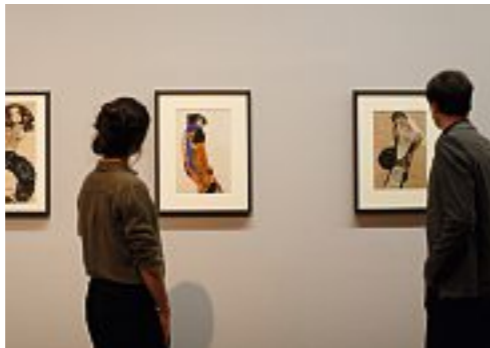
1918年には、オーストリア文化史上重要な4人の人物が世を去りました。画家のグスタフ・クリムトとエゴン・シーレ、建築家オットー・ワグナー、多分野で活躍したコロマン・モーザーです。

2018年には、彼らに加え多くの同時代人によって1900年前後のウィーンに開花した、いわゆる世紀末芸術をテーマとする数々の展覧会が開催されています。

クリムト、シーレ、ワグナー、モーザーは、ウィーン現代美術の最も重要なパイオニアです。クリムトとシーレの作品は絵画表現の新世界を切り拓き、現在では世界各地のオークションで最高値となっています。オットー・ワグナーの建築、とりわけ郵便貯金会館とシュタインホーフ教会は単に美しいばかりでなく、現代建築への道を指し示すものでした。モーザーは言わば史上初のグラフィックデザイナー

でした。モーザーも創設メンバーのひとりだったウィーン工房は、1903年以降デザイン界に革命を巻き起こしました。加えてさらに多くのパイオニアたちが、19世紀末から20世紀初頭に重要な改革を実現しました。2018年には、クリムト、シーレ、ワグナー、モーザーと同時代人を主役として、多くの展覧会が開催されています。

[www.viennesemodernism2018.info](http://www.viennesemodernism2018.info)



素顔のウィーンを知るためには、直接、市民の生活を体験するのが理想的です。それは観光名所ではなく、日常生活の場です。そこでは、この街を代表する本物のウィーン市民に出会えます。これこそ「体験する素顔のウィーン」なのです。

## ウィーンを感じる

ウィーン的生活水準と生活哲学は、日常生活の現場でこそ体験できます。ウィーン訛りやウィーン子の魂は、国際都市の瀟洒なファサードの背後に隠れています。こうした日常生活の場でこそ、生粋のウィーン子に出会うことができます。彼らは物語を秘めているばかりでなく、それを語ってくれます。こうした物語の中にウィーン子の魂が浮かび上がります。2019年には、典型的なウィーンのスポートに脚光が当てられます。例えば旧市街地にある「ツム・シュヴァルツェン・カメル」——このレストランには、ウィーンのあらゆる

社会層の人々が登場します。ヌースベルクの丘にあるヴィーニンガー一家が経営するプーシェンシャンク(ワイン居酒屋)では、ウィーン市街の見事なパノラマを眺望できます。バロックのフランチェスコ教会にあるウィーン最古のオルガンは、1642年に建造されたもので、ヨハネス・エーベンパウアーの名演奏により、いま再び脚光を浴びています。ウィーン国立音楽大学のキャンパスには、未来のスター音楽家たちが行き交っています。

70年前、ウィーン下水道システムは、映画「第三の男」で重要な舞台となりました。ここには今も主人公のハリー・ライムが登場します。このワイルドなウィーン子には、写真家ゲオルク・ポップとヴェレナ・ポップ＝ハックナーのガイドツアーで出会えます。ジャン・ポール・ヴォゴアンがピーダーマイヤー様式の建物の中庭に設立した銀細工工房ヤロシンスキ&ヴォゴアンは、今や世界中にその名を知られる存在です。2019年のウィーンでは、これら多くの多彩な出会いが待っています。

ウィーンでは毎晩1万人に上る音楽ファンが、クラシックのライブ演奏を楽しみます。これは世界的にも他に例がありません。モーツァルト、マーラー、ハイドン、ベートーヴェン、ワルツ王ヨハン・シュトラウスなど、これほど多くの作曲家が活躍した都市も他にありません。ウィーン・フィルとウィーン少年合唱団は、全世界のトップに立つ存在です。

## ウィーンを聴く



ウィーンは世界に冠たる音楽の都です。ウィーン・フィルのニューイヤークンサートは毎年、世界90カ国以上にテレビ中継され、数百万の人々が鑑賞しています。ウィーン少年合唱団は、アウガルテンにある独自のコンサートホール「MuTh」を本拠地とし、全世界で高い人気を集めています。

世界的に名高いウィーン国立オペラ座では毎シーズン300に上る公演があり、しかも毎晩プログラムが変わります。アン・デア・ウィーン劇場は「一味違う」オペラハウスとして確固たる地位を確立し、バロックオペラから現代作品まで、変化に富むプレミアの数々で高く評価されています。ミュージカル・ファンのためにはライムント劇場で「アイム・フロム・オーストリア」、

ローナッハー劇場で「ダンス・オブ・ヴァンパイア」が上演されています。9月末からは「ボディガード」がスタートします。夏の市庁舎前広場では、夜毎に音楽と味覚の饗宴が繰り広げられます。音楽映画の星空シネマは入場無料、周囲には多くのスナックスタンドが並びます。多彩な音楽分野でもフェスティバルが開催されます。ウィーン・ブルース・スプリングは、世界で最も開催期間の長いブルース・フェスティバルです。アフリカ・フェスティバルではワールドミュージックが演奏され、ウィーン・イム・ローゼンシュトルツではウィーン歌謡が紹介されます。クレツモア・フェスティバルでは、ユダヤ伝統のクレズマー音楽が主役です。ウィーン・ジャズフロアでは、市内の9つのクラブで100に



上るコンサートが催されます。ヴォイスマニアは楽器伴奏一切無しで歌唱の魅力を強調するアカペラのフェスティバルです。こうした豊かな環境からは多彩な創造の芽が育ちます。フレックス、フルック、プラーターサウナ、グリレ・フォレレでは、オグリシ・デプリスやHVOBなどのエレクトロサウンドが響き、国際的にも人気を集めています。ビルダーブーフやワンダー&Co.は、ドイツ語圏における新たなポップ世代を確立しました。カールスプラッツで開催されるポップ・フェスティバルでは、オーストリアの最新トレンドが紹介されます。ドナウインゼル・フェスティバルはヨーロッパ最大のオープンエア・パーティーで入場無料、毎年300万に上る人々が訪れます。ウィーン・ウェーブズはクラブ音楽のフェスティバルで、3日間に、オルタナティブ、エレクトロニック、ロックなど100以上のライブアクトが繰り広げられます。

## ウィーンを味わう

ウィーン料理は世界で唯一、都市の名を冠した料理です。ウィーンは世界で唯一、市内で大規模なワイン生産が行われている大都市です。またウィーンのカフェハウスは、文化が育まれるオアシスとして世界的に知られています。



ウィーン子はシンプルでリラックスした雰囲気が好きです。「バイスル」と呼ばれるウィーン独特の庶民的なレストランは快適で人気があります。ここではシュニツェルやグーラッシュ、ローストレバー、カイザーシュマールなど、堅実で味の良い伝統料理が供されます。この持続性こそバイスル文化のルネサンスをもたらしたもので、「ウブル」「ガストハウス・ヴォルフ」「グラス・バイスル」、さらに「ヴィルデン・アム・エック」などが脚光を浴びています。



ウィーンを味わうプログラムの頂点に立つのはグルメの殿堂です。その代表はシルヴィオ・ニコル・グルメリストラン、コンスタンティン・フィリップウのレストラン、そして「高級レストラン世界50選」の10位となっているシュタイラーエックは市立公園の緑の中にあります。味のプログラムの対極にあるファストフードにも、ウィーンならではの独特の味わいがあります。ヴェルステルスタンドの屋台で味わうソーセージは、舞踏会やコンサート、オペラの後でお楽しみください。

ウム」「シュペール」「デーメル」など伝統のカフェハウスには、多彩なコーヒーのバリエーション、各国の新聞、様々なメールシュバイゼ(ケーキ類)が揃っています。モダンなカフェの代表は「レオポルト」「バルタザール」「スーパースターザッツ」です。これは、同じブドウ園で3種類以上の白ブドウが栽培・収穫され、一緒に絞られ熟成されるものです。このユニークなワインは生産地認証も獲得しています。

ウィーンのカフェハウスは、文化を醸成する人生のオアシスです。伝統的なウィーンのカフェハウス文化は、2011年からユネスコ無形文化遺産に登録されています。「ツェントラル」「ラントマン」「ムゼ



# ウィーンを生きる

ウィーン的生活は快適です。ウィーン市民が日々実感していることは、公式にも証明されています。「マーサー世界生活環境調査・都市ランキング」で、ウィーンは9年連続ナンバーワンとなっています。

様々な国際機関や世界企業がウィーンに拠点を置いているのも当然のことです。加えてウィーンは、世界で最も安全な都市のひとつです。

この優れた生活水準には確たる基盤があります。ウィーンは他に類例の無いほど緑に恵まれ、歴史的な旧市街にさえ多くの公園や庭園があります。芸術的な花壇から鬱蒼たる森林まで、ウィーンの緑は変化に富んでいます。

ラインツァー・ティアガルテンを歩けば、イノシシに出会うこともあります。シェーンブルン動物園にはエキゾチックな動物たちが暮らしています。ウィーンには眺望を楽しめるポイントも沢山あります。ドナウタワー、カーレンベルク、コペンツル、そして丘陵地帯に広がる数々のブドウ園です。水上からは新鮮なパースペクティブが広がります。市民の保養エリアとして人気が高いのはドナウ川で、ドナウインゼルと呼ばれる長大な中洲はアウトドアのメッカです。ドナウ旧流では夏に水泳やヨットが楽しめます。サマーシーズンには旧市街を通るドナウ運河の両岸にカフェやレストラン、バー、スナックが並び、家族連れにも快適なプロムナードとなります。ドナウ運河を下るとプラターがあり、これは600平方メートルの広大な緑地帯で、大都市の公園として世界で最も美しいものに数えられます。

ウィーンは、よく機能する優れたインフラストラクチャーを有し、世界で最も安全な大都市のひとつです。このため、多くの国際機関がウィーンに本部を構えています。ウィーンは国連施設のある4つの都市のひとつであり、15の国連機関が置かれています。OPEC(石油輸出機構)とIAEO(国際原子力機関)もウィーンに本部を置いています。多くの多国籍企業もウィーンを重要拠点としています。さらに、19万6400人の大学生が学ぶウィーンは、ドイツ語圏最大の大学都市です。

この街の国際性は、開放的な気風と文化的多様性によるものです。従ってウィーンが、2019年度ユーロプライド開催地に選ばれたのも当然と申せましょう。100万人に上る参加者が見込まれています。頂点を飾るのは2019年6月15日、リング通りを行くレインボーパレードです。

LGBT.vienna.info



## ウィーンの名所を巡るおすすめルート

国立オペラ座(1)から出発し、ケルトナーシュトラッセを通過して、ウィーンのシンボル、シュテファン大聖堂(2)へ。近くにあるモーツァルトハウス・ウィーン(3)もお忘れなく。グラーベンとコルマルクトの通りを過ぎれば皇帝の居城だったホーフブルク王宮(4)に出ます。先に進むと王宮前広場、ここからは国会議事堂や市庁舎を望むことができます。ブルク門を通過すれば美術史博物館(5)とミュージアム・クォーターMQ(6)。MQには著名な美術館ほかがあります。ゲトライデマルクト通りを下ると、黄金の葉を模した球に飾られたセセッション(7)に出ます。カールスプラッツ駅の地下通路を通過してキュンストラッハウスに出ると、向かい側は、ウィーン・フィルの本拠地である楽友協会(8)です。大通りの彼方には、ドームが特徴的なバロック様式のカールス教会(9)がそびえ、その隣りにウィーン・ミュージアムがあります。ロートリンガーシュトラッセを進むとコンツェルトハウス(10)、さらに行くと市立公園とクアサロン。公園内には黄金のヨハン・シュトラウス記念像(11)があります。リング通りを渡り、ザイラーシュテッテ通りに音楽の家(12)。ケルトナーシュトラッセに戻り王宮方向へ進めば、観光案内所の先にアルベルティーナ美術館(13)があります。



**VIENNA CITY CARD 24h**

**WWW.VIENNA.INFO**

オンライン宿泊予約、イベントデータベースほか

フェイスブック、ツイッター、ユーチューブ:  
www.facebook.com/ViennaTouristBoard  
www.facebook.com/GayfriendlyVienna  
www.twitter.com/ViennaInfoB2B  
www.youtube.com/Vienna  
www.instagram.com/viennatouristboard

---

**ウィーン公式カード**  
便利な VIENNA CITY CARD でウィーンを満喫しましょう。地下鉄、市電、バスが24時間、48時間あるいは72時間乗り放題のほか、美術館やホリリゲなどで210以上の特典が楽しめます。€17より。カードのお求めは、ご滞在中のホテル、観光案内所(アルベルティーナ広場、毎日9時~19時)、ウィーン中央駅の観光案内所(毎日9時~19時)、空港の観光案内所(毎日7時~22時)、市交通局前売り窓口や案内所、BIG BUS、オンラインショップで **SHOP.VIENNA.INFO**

**観光案内所・旧市街**  
毎日9時~19時、1区 Albertinaplatz/ Maysedergasse, 無料 WLAN

**観光案内所・ウィーン中央駅構内**  
毎日9時~19時、国鉄インフォポイント

**観光案内所・ウィーン空港**  
毎日7時~22時、到着ロビー左

**宿泊案内+観光情報**  
Tel. +43-1-24 555, Fax 内線 666  
月曜~金曜9時~19時, info@wien.info

**オーストリア全国の観光案内**  
www.austria.info/jp

## 役立つ情報

### ショッピング

店舗の一般的な営業時間: 月曜~金曜9時~18時30分、土曜は17時または18時まで営業。多くのショッピングセンターは月曜~金曜20時または21時まで営業。主要鉄道駅構内や空港内の店舗、ミュージアムショップは日曜日や祝日も営業。

### 法定祝祭日

1月1日、1月6日、復活祭月曜、5月1日、キリスト昇天祭、聖霊降臨祭月曜、聖体節、8月15日聖母被昇天祭、10月26日(ナショナルデー)、11月1日、12月8日(多くの店舗が営業)、12月25日、12月26日。

### ウィーン空港シュヴェヒャート

ウィーン空港からウィーン市内中心まで約16キロ。**シティエアポート・トレイン(CAT)** 空港とウィーンミッテ駅を結ぶ。30分おき運行、所要時間約16分。片道€11。ウィーンミッテ駅シティ・エアターミナルのカウンターで多くの航空会社のウィーン発フライトのチェックインができます。www.cityairporttrain.at **国鉄シュネルバーンS7:** ウィーンミッテ駅=空港。所要時間25分。料金: €4.10 (市外区域 €1.70+ウィーン市内 €2.40) **国鉄レールジェット(RJ)** 国鉄: 空港=ウィーン中央駅間、所要時間約15分、料金: €4.10 (市外区域 €1.70+ウィーン市内 €2.40) www.oebb.at

### 空港リムジンバス

空港と市中心部、西駅、ドナウツェントルム/ウィーン・インターナショナルセンター。所要時間20~45分。料金: €8 www.viennaairportlines.at **ブラグス・エアライナー(Blaguss)** バスターミナル Erdberg。料金: 片道€5, 往復€9 www.air-liner.at **タクシー、シャトルサービス** 空港トランスファー特別料金あり。www.air-liner.at

### リング通り周遊路面電車 Vienna Ring Tram

ウィーン・リングトラム Tel. +43-1-7909-121 www.wienerlinien.at

### ドナウクルーズ DDSG Blue Danube

ブルーダウニブ Tel. +43-1-588 80 www.ddsg-blue-danube.at

### ウォーキングガイドツアー

様々なテーマによるガイド。所要時間 約1時間30分。Tel. +43-(0)660-661 95 17 または +43-(0)664-260 43 88 www.wienguide.at

### 公認観光ガイド Vienna Guide Service

ウィーン・ガイドサービス Tel. +43-1-587 36 33-62 www.guides-in-vienna.at

### 観光プログラム

**定期観光バス Big Bus Tours** ビッグバスタOURS Tel. +43-1-905 910 00 www.bigbustours.com/en/vienna

### Sightseeing Tours

サイトシーイングツアーズ Tel. +43-1-712 46 83 www.viennasightseeing.at **Red Bus City Tours** レッドバス・シティツアーズ Tel. +43-1-512 40 30 www.redbuscitytours.at

### ブラチスラバ空港(スロバキア)

ウィーン市中心まで65キロ。バス: ブラチスラバ空港とウィーン空港・ウィーン中央駅・ウィーン Erdberg バスターミナルを結ぶ。所要時間約1時間15分。www.slovaklines.sk

### 定期観光バス Big Bus Tours

ビッグバスタOURS Tel. +43-1-905 910 00 www.bigbustours.com/en/vienna

### Sightseeing Tours

サイトシーイングツアーズ Tel. +43-1-712 46 83 www.viennasightseeing.at **Red Bus City Tours** レッドバス・シティツアーズ Tel. +43-1-512 40 30 www.redbuscitytours.at



#ViennaNow

www.vienna.info

# ウィーン

今 ● いつまでも

A chance to win!

ホテル滞在の感想を  
投稿しよう。



survey.vienna.info/trip



# ウィーンの日